

羽島市立中央中学校で防災講座を行いました

令和7年9月16日（火）、羽島市立中央中学校で全校生徒約390名に防災講座を行いました。学校は、木曽川と長良川に挟まれており、近くには逆川が流れている水害リスクが高い地域です。

講座では、羽島市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害などを学習し、VRや映像での浸水疑似体験、伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験を行いました。学校の想定される浸水深は5～10m、これを校舎に当てはめたところ、多くの生徒が驚き、浸水疑似体験と合わせ水害の恐ろしさが伝わった様子でした。

代表生徒からは、「過去の水害の話を聞きとても危険だと分かったので、家族と話し合ったりきちんと準備をして、いざというときに行動できるようにしたいです。」「線状降水帯は岐阜県でも発生する可能性があるので自分ごととして考えて、ハザードマップで自宅の浸水深を調べるなど事前の備えをしていきたいです。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。
なお、講座の様子は読売新聞に取材頂きました。

